



しんごうのその便り

社会福祉法人 神郷の園
〒719-3611
岡山県新見市神郷下神代 1955 番地
Tel (0867) 92-6311 Fax (0867) 92-6008
E-mail : shingonosono1985@ybb.ne.jp

冬来たりなば・

施設長 上山 晋

今年の冬はとても寒く、朝晩の厳しい冷え込みが続いています。先日、積雪で通勤中の職員の車が園のすぐ近くの坂道で立ち往生しました。

昨年の今頃は、暖かい日もあり、椎茸の植菌作業をしていましたが、今年は、それどころではありません。春の気配はもう少しです。春の息吹が感じられるような暖かい日差しが待ち遠しい毎日です。

さて、4月から、給食の調理業務を直営から外部へ業者委託することになりました。人出不足が原因で、給食を安定的に提供できる調理の人員体制を維持していくことが困難になってきました。利用者さんに喜んでいただけるよう、これまで通りおひとりお一人の状態に応じた、安全でおいしい食事の提供を心掛けてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

新型コロナウイルスは、市内ではクラスターが発生するなど、まだまだ油断できない状況です。3回目のワクチン接種は職員、利用者のほとんどの方が接種を終えています。引き続き、感染防止に努めながら、安全な園運営に努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。「冬来たりなば春遠からじ」です。

節分

支援主査 坂本 瑞恵

2月3日(木) 節分のこの日の昼食は楽しみにしていた恵方巻です。



調理の方の手作りで、お腹いっぱい頂きました。そして、午後は幸せを願って豆まきを行いました。男子・女子それぞれ寮で、工夫を凝らして行いました。外に向かって、また、鬼のめがけて『鬼は外!』『福は内!』日頃とは違う表情で何を何度も倒す力強さに、大いに笑い盛り上がりました。ストレスを発散出来た方もおられたのではないのでしょうか。昨今『鬼』と言えば、やはりコロナでしょうか。



鬼が去り、早く平穏な日々が戻る事を願うばかりです。そして、節分の翌日は立春。冬のオリンピックが開幕し、日本選手の活躍にたくさんの勇気をもらいました。



今年は大雪でした

今シーズンは例年に比べて、雪の量が多く感じられます。近年はどちらかと言えば暖冬傾向だったので、冬



でも晴れた日には施設内道路をウォーキングしていましたが、今年は室内での活動が多く、利用者の方々の体力維持やストレス解消のため、体操やレクリエーションなどで体を動かす機会を設けましたが、やはり開放的な屋外の活動の方が気分転換などにはいいようです。寒い日でしたが道路の雪が融けたので、防寒を施してウォーキングしました。春の訪れが待ち遠しい毎日です。



カラオケ親睦会（女子寮）

生活支援員 林 晴美

2月12日（土）にカラオケ親睦会を女子寮で開催しました。当日は新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大による自粛生活の中、利用者の皆さんに安心して楽しんでいただけるよう場所や日程を各寮で分ける等、感染防止に配慮して行いました。

和やかな雰囲気の中、皆さん十八番の曲を歌い、周りの方々と手拍子をしたり口ずさんだり楽しい親睦会となりました。3月には毎年恒例のカラオケ大会を予定しています。無事開催できることを願っています。



カラオケ親睦会（男子寮）

生活支援員 逸見 建友

2月26日（土）にカラオケ親睦会を男子寮にて行いました。新型コロナウイルス感染症拡大による対策として、岡山県が1月27日から3月6日までをまん延防止等重点措置と定めた期間中だったため、男子寮女子寮で日程を分けて開催しました。冬型の悪天候の日が続くことがあり、施設内の活動としてカラオケをする機会が多く、得意の曲を十分に歌い込むことが出来ていたこともあり、閉塞的な空気を吹き飛ばすような晴れ晴れとした美声を披露され、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。



今月の予定

- 3日 ひなまつり
- 9日 誕生会
小松始さん・林直哉さん
酒井新二さん・池本幸弘さん
- 9日 おでかけ支援⑤
- 10日 おでかけ支援④
- 15日 普通救命講習
- 21日 カラオケ大会
- 25日 内科検診

■ご家族の皆様には、様々な行事へのご参加などを制限させていただき、誠に申し訳ございません。

新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの感染には細心の注意を払っておりますので、もうしばらく帰宅や面会は制限させていただきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

3月お知らせ



2月末をもって、利用者の松谷陽子さんがグループホームしんごう ひまわり寮を退居され、倉敷市のご自宅で生活されることになりました。約1年間の園での生活でしたが、様々な経験をされたことと思います。今後もお元気で過ごされることをお祈りいたします。

写真右：松谷さん

